

平成28年度大阪府がん対策推進委員会肝炎肝がん対策部会（概要）

1 日時 平成29年2月15日（水） 午後2時～

2 場所 大阪がん循環器病予防センター 6階研修室

- 3 議事
- （1）肝炎専門医療機関及び肝炎協力医療機関の指定について
 - （2）肝炎専門医療機関の現況報告について
 - （3）肝炎フォローアップ事業について
 - （4）第二期大阪府がん対策推進計画の取組状況について
 - （5）その他

4 議事概要、委員からの意見要旨及び審議結果

（1）大阪府肝炎専門医療機関及び大阪府肝炎協力医療機関の指定について《資料1》

新規申出のあった肝炎専門医療機関9機関、肝炎協力医療機関20機関について、平成29年2月15日付健第2516号により諮問。

【審議結果】

肝炎専門医療機関9機関、肝炎協力医療機関20機関については、指定が妥当。

（2）肝炎専門医療機関の現況報告について《資料2》

大阪府肝炎専門医療機関（167機関）を対象とした、平成27年度における現況報告。

（3）肝炎フォローアップ事業について《資料3～7》

○特効薬ができる等肝炎治療の環境がよくなってきただけに、肝炎ウイルス検査と陽性者へのフォローをより徹底していけば、まだまだたくさん救われる命が増えると思う。

○資料3のアンケートについて、フォローアップ対象103人で回答数が約2割の20人は少ないと思う。1月31日が締切で調査期間が約1週間しかない。締切が過ぎても回答しない人もいるだろうが、アンケートはこれで終了か。

⇒今回の報告は1月31日で締め切った時点の内容を報告したもの。締切日以降に届いた回答については今回の報告に加えていき、最終的な報告を行うつもり。

○重症化予防について、陽性者のフォローと精検受診者がその後定期的に受検しているかどうかの確認を行っていく必要がある。

○受診率の向上について、従来のような電話だけではなく、質問を受け付けてそれに返すようにすれば受診率が向上している例があり、受診率の向上へ向けたやり方を工夫して行う必要がある。

(4) 第二期大阪府がん対策推進計画の取組状況について《資料8》

- 肝炎コーディネーターの養成事業について、国及び府の動静、補助金交付などの予算措置について質問あり、現状について事務局より説明。
- がん対策推進員の役割について、府と民間協定を締結している会社の社員に対し研修を実施の上、推進員の認定を行っていること、府で作成した受診勧奨用チラシ等を、がん対策推進員が訪問先の企業の従業員に勧奨する際に配布してもらうことなどを考えている旨、事務局より説明。
- 肝炎ウイルス検査について、市民まつりやスポーツイベントはすべきだと思うが、来た時に検査を受けることや、イベントや市民公開講座の場で肝炎検査を無料で受けることができる仕組みができれば。と考えている。
 - ⇒イベント会場等で肝炎検査を行う場合、巡回診療、巡回検診に該当し、許可を得た医療機関でないとできないという、医療法上の問題もあって実施は難しい。
- 自己評価について、ほとんど実現不可能な数字を目標設定していたことになるが、設定をいまさら変えられないのであれば、評価をB→Aに行くにはこの一年相当頑張らないといけないという気がする。

【審議結果】

第二期大阪府がん対策推進計画の取組状況について、一部文章の軽易な修正がなされる可能性はあるとしたうえで、内容については承認。

(5) その他

- 大阪府肝炎医療費援助事業《資料9》、及び《資料10》について事務局より説明。
 - なお、大阪府肝炎医療費援助事業の平成29年度予算が前年度より減額となったことについて、平成27年度の申請が非常に多く、28年度では申請数が落ち着いたこと、補正予算で5億円程度減額している旨を補足で説明。
- 是非大阪府において重症化予防事業を実施していただくようお願いしたい。
 - ⇒重症化予防事業については、国と府のスキームの問題がある。現在の府の行っているスキームがあっても精検受診率が現状の様になっている。現在の大阪府のスキームを継続しながら国のスキームと合致させることができないかの協議の最中。この協議がうまくいったところで検討していくことにしているのでその辺りを承りたい。